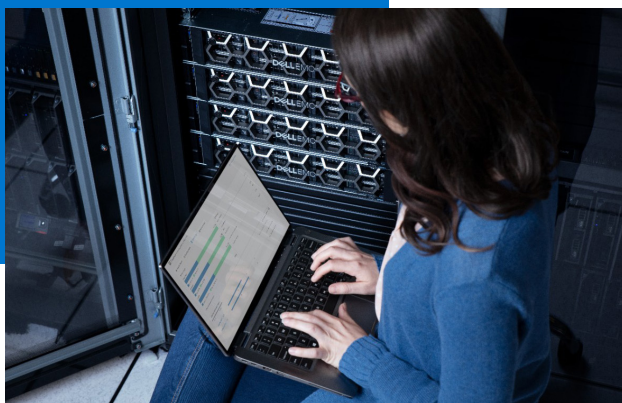


## IT部門がスムーズなストレージ アズ サービスを試用

Dell Digitalが、新しいDell Technologies APEX Data Storage Servicesの顧客第一号として効率を向上させます。



情報技術 | 米国



「APEXによって、大企業の内環境内でストレージを調達、導入、維持する方法が変革されることは明らかです。」

**Jim Hall**

Dell Digital

コア インフラストラクチャ エンジニアリング、  
シニア コンサルタント

## ビジネス ニーズ

デル・テクノロジーズ社内のIT組織は、急速に変化するニーズに対応するために、スタッフを日常的なインフラストラクチャ運用とメンテナンス業務から解放し、俊敏性と柔軟性を高める必要がありました。彼らはITトランスフォーメーションを推進するために、APEX Data Storage Servicesの機能を評価したいと考えていました。

## ビジネス成果

- 新しいストレージの発注から設置までの期間を3か月から1か月未満に短縮。
- 長いサイクルの容量のモデリングおよび計画の必要性を排除。
- オンデマンドで必要に応じて、容量のモニタリングと容量レベルの調整が可能。
- 変更管理とアップグレード作業からスタッフの時間を解放。

## ソリューションの概要

- [APEX Data Storage Services](#)

## APEX Data Storage Servicesが デル・テクノロジーズの自社データセン ターでデビュー

Dell Technologies APEX Data Storage Servicesサブスクリプションサービスの顧客第一号としての役割は、デル・テクノロジーズのIT組織であるDell Digitalのための試用だけではありません。デル・テクノロジーズのITテクノロジー大企業のお客様のように、Dell Digitalは日常のインフラストラクチャ運用とメンテナンス業務からIT専門スタッフを解放して、より高い価値のある優先事項に集中できるよう努めています。

デル・テクノロジーズが2021年第1四半期に、この最初のAPEXサービスのプライベート プレビューの一環として、APEX Data Storage ServicesをDell Digitalの本番データセンターに導入したとき、Dell Digitalのコア インフラストラクチャ エンジニアリングのシニア コンサルタントであるJames Hallは、チームは最初に導入されたことを喜んでいてと言っています。また、「APEXによって、大企業環境内でストレージを調達、導入、維持する方法が変革されることは明らかです。」と言います。

APEX Data Storage Servicesは、弾力性のある成果ベースのITサービスのポートフォリオの最初のサービスです。これにより、お客様は、必要に応じてスケール アップとスケール ダウンを行い、使用した分だけ支払うことができます。このサービスでは、デル・テクノロジーズが所有して維持するオンプレミスのインフラストラクチャを提供しますが、管理と運用はお客様が行います。APEX Consoleを使用すると、APEXアズ ア サービスのリソースを簡単に管理できます。APEXサービスは、運用コスト(OpEx)処理を目的として設計されています。\*

Dell Digitalは、APEX Data Storage Servicesでテスト ワークロードを実行し、プロセスと、より広範なエコシステムにソリューションがどのように適合するかについてフィードバックを提供しました。Hallの評価によると、APEX Data Storage Servicesは、将来のDell Digitalの運用にシンプルさと俊敏性を追加する大きな可能性があります。Hallは、「容量管理、パフォーマンス管理、そして使用量に応じて支払えることで、新たな効率性が得られるのは間違いありません。」と言います。



「データセンター内での引渡し、導入、統合はすべて素晴らしい経験になりました。」

**Jim Hall**

Dell Digital

コア インフラストラクチャ エンジニアリング、  
シニア コンサルタント

\* (OpExとしての会計処理については、お客様の社内の会計レビューとポリシーに従うものとします。)



チャージバック プロセスを簡単に開発できます。

## 14日で実現

他のお客様と同様に、Dell Digitalも必要なストレージ容量（50テラバイト）を指定してから、その容量をホストするのに必要な特定の環境を構成して、APEXトランザクションを開始しました。ストレージソリューションエンジニアリングは、製品、導入、ストレージ、ITサイバーセキュリティのチームと連携して、データセンター内のスペースと電力をプロビジョニングし、外部ネットワーク構成を作成し、セキュリティルールを設定しました。

APEX Data Storage Servicesインフラストラクチャが到着してから、引渡しと完全な導入のサービスレベル目標である14日以内に、Dellのデータセンターに導入されました。Hallは、「他の条件がすべて同じなら、APEXは発注から新しいストレージの設置までの所要時間が、現在の3か月から1か月未満に短縮されると見積もっています。」と言います。

「データセンター内での引渡し、導入、統合はすべて素晴らしい経験になりました。また、APEX Consoleを使用すると、ストレージ使用率の可視性が向上します。Dell Digitalは、容量管理、パフォーマンス監視、変更管理、およびアップグレードメカニズムにより、APEX Data Storage Servicesでどのように時間と労力を節約できるかをテストして学習しています。」とも話しています。

APEX Data Storage Servicesでは、導入されたインフラストラクチャにバッファの容量が自動的に含まれるため、アンダープロビジョニングの可能性がなくなります。インフラストラクチャを拡張してアップグレードするのに、計画的なダウンタイムは必要ありません。Dell Digitalは、システムに別のアプライアンスを追加することで拡張容量をテストし、それがどのように拡張されるか確認する予定です。

## 自社独自のサブスクリプション

「自社製品を実際に使う」という慣習に則り、Dell Digitalはデル・テクノロジーズの新しいIT運用テクノロジーの最初の消費者としての役割を果たすことがよくあります。しかし、なぜDell DigitalがDellのストレージアズアサービス製品をサブスクリプションするのでしょうか。

Hallは、「APEX Data Storage Servicesを使用することで、外部のお客様と同じビジネスニーズに対応しようと努めているのです。」と言います。

チームメンバーを解放して価値の高い業務に集中できるようにすることや、使用した容量分のみを支払うことの他にも、Dell Digitalはアズアサービスモデルに潜在的なメリットがたくさんあると考えています。Dell Digitalは自社のストレージ機器に対して支払いを行っており、従来の設備投資(CAPEX)モデルとは対照的なOpEx会計モデルに移行するオプションは非常に重要です。また、OpExモデルを使用すると、Dell Digitalは、ユーザーが使用した分に対して請求するチャージバックプロセスを簡単に確立できます。これは、Dell Digitalが取り組んできたことです。

Hallは、「必要に応じてサービスを提供する機能があるため、容量のパイプラインの構築を心配する必要がなくなりました。APEX Consoleを使用して容量レベルを監視して調整するだけです。」と言います。



「APEX Consoleを使用すると、ストレージ使用率の可視性が向上します。」

**Jim Hall**

Dell Digital

コアインフラストラクチャエンジニアリング、  
シニアコンサルタント



「容量管理、パフォーマンス管理、そして使用量に応じて支払えることで、新たな効率性が得られるのは間違いありません。」

**Jim Hall**

Dell Digital

コア インフラストラクチャ エンジニアリング、  
シニア コンサルタント

APEXサービスを使用すると、必要に応じて追加の容量をすばやく提供して設置できます。Hallは、「つまり、Dell Digitalは、データセンターの容量のニーズの予測とモデリングに費やす時間を短縮する必要があるということです。現在、新しいストレージ容量の設計、調達、導入には長いサイクル時間が必要です。APEX Data Storage Servicesを使用すると、使用した分だけ支払うことで、新しい容量およびコスト効率を得るために必要な時間が短縮されます。」と言います。

「コスト面では、APEX Data Storage Servicesによって、ストレージ資産全体でより一貫性のある運用を実現し、インフラストラクチャに依存するビジネスとチームの成果を向上させる必要があります。先日、エンジニアの時間の最大30%が管理タスクに費やされていることがわかりました。これらの作業からエンジニアを解放することで、追加のリソースを調達することなく、ロードマップに機能を追加することに専念できるようになります。」とも言っています。

## 今後付加される価値

APEXが進化して他のアズア サービスが追加されると、Dell Digitalは、サブスクリプションに含まれるデル・テクノロジーズが提供する保守サービスのメリットを得ることができるようになります。さまざまな製品にわたるさまざまな流れでDell Digitalが現在利用している多くのDellのサービスを利用する必要がなくなり、代わりにサブスクリプション オプションによってはるかに効率的にそれらのサービスが提供されるでしょう。

「この最初の試用で見てきたメリットを考えると、APEXがその他のインフラストラクチャ ポートフォリオ全体でどのように発展するのか楽しみです。また、Dell Digitalは運用を変革する可能性のある他のAPEXの機能やソリューションについて製品チームとの話し合いを開始しています。最終目標は、Dell Digitalのストレージと、場合によってはコンピューティング容量の100%をAPEXによって提供することです。」と、Hallは言います。

「APEXのポートフォリオが拡大し、より多くの調達とバリエーションの拡張を目指す中で、データセンターに何かを導入するために私たちが行う多くの作業から人材を解放し、より優先的な作業に専念できることが価値提案だと思います。」